

令和２年度 京都府立須知高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） （計画段階）

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
【目指す教育】 ◆日本三大農業教育発祥の地「京都府農牧学校」以来の歴史と伝統の継承 ◆「自主」「規律」「誠実」を校訓とし、心身ともに健康で、自主の精神に富み、根気よく学ぶ力と豊かな情操を身に付けた有為な社会の形成者を育成 【目指す学校】 ◆地域と共に歩み、地域を支える人材を育成する学校 ◆土から食卓までを結ぶ新たな専門教育を拓く学校 【目指す生徒】 ◆夢と希望を持ち、自ら学び自らを高め、未来を見通し拓く生徒〔展望する力〕 ◆豊かな感性、人権意識、道徳心を身に付け、社会を担う責任を自覚し、自然、人、社会とつながる生徒〔つながる力〕 ◆自らの目標を実現するため、失敗を恐れずに挑戦し、強しなやかな意志と健康でたくましく生きる生徒〔挑戦する力〕	【成果】 ◆生徒の生活実態に応じた組織的な指導の推進、府教委指定地域創生推進校「リスタ須知・夢 無限大 ∞」を軸とするきめ細かな学習指導、生徒指導、進路指導により、個々の生徒に応じた学力向上、希望進路実現を図れた。 ◆「ハイスクール起業チャレンジ実践校」として京丹波学や地域探究ゼミ、京都府農牧学校の研究を通して地域活性化策を考案するとともに、食品科学科におけるの地元食材を活かした加工品開発やウィードの森に関する研究、普通科における地域資源を活用したプロジェクト学習の発表会を実施することで広く情報発信することができた。また、日本菊花全国大会における上位入賞やビジネスプラングランプリでの入賞などの成果を残すことができた。 ◆ホッケー部員の全国募集により学校の活性化に繋がる取組を行うことができた。また、ホッケー部男女揃っての全国高校選抜大会出場や同大会における女子ホッケー部のベスト8進出、少年女子京都府選抜チーム（本校生徒3名出場）国体優勝などの成果ををあげることができた。 ◆須高感謝祭を京丹波町食の祭典と同時開催し、学習の成果を多くの方に披露することができた。「須高通信」の発行、ホームページの更新、京丹波町ケーブルテレビ・新聞等による情報発信により、本校の教育活動を広報することができた。また、学校アンケート、授業アンケートを実施し、教育ニーズの受信にも努めた。さらに、中学校に加え小学校との連携を深めることができた。 【課題】 ◆家庭学習習慣の定着を図り、自分の将来に向け、高い志や目標を持ち、進路に対して積極的に挑戦すること。 ◆地域との連携や保護者からの信頼関係を深め、地域と共に歩み、地域に貢献する教育機関としての役割を高めること。 ◆規範意識やモラルの高い、心身ともに健康な生徒の育成を進めること。 ◆部活動の活性化に向け、加入率を高める方法を検討すること。 ◆京丹波町内の中学生の志願者を増やすこと。	【学校経営主題】 「リスタ須知・夢 無限大 ∞ ～伝統の継承と改革・未来創造～」 【重点項目】 ◆学科・コースの特色化と学力向上 ◆校種間連携(幼・小・中・高)を活用した生徒募集活動 ◆部活動の活性化とホッケー部員の全国募集 ◆京丹波町の関係機関と連携したキャリア教育の推進 ◆総合的な探究(学習)の時間での「京丹波学」や関西大学と連携した「地域探究ゼミ」の充実と発展 ◆新学習指導要領に対応した教育課程編成の検討・準備 ◆農業の6次産業化の推進と地域資源を活用した新商品の開発 ◆「須高感謝祭」と「京丹波町食の祭典」との同時開催による学習成果の発表と学校施設の公開 ◆和知太鼓などの伝統文化の継承と発展

分掌教科	項目（重点目標）	具体的方策及び数値目標	評価		成果と課題
教務部	学習意欲の向上と学習習慣の定着の取組	・学習意欲の向上と基礎学力の充実を図る取組を推進する。			
		・学習習慣の定着を図る。			
生徒指導部	自主活動の活性化	・部活動の情報発信を積極的に行い加入率の向上を図る。			
		・生徒会本部役員を中心に生徒会行事を成功に導く。			
進路指導部	進路指導の充実	・各学年の進路目標を踏まえ、個々の生徒の将来ビジョンに繋がる進路学習を展開する。			
		・FINEシステムやコンパスを活用して学力分析を充実し、進路検討会議を複数回開催する。			
保健部	生徒の健康状態を把握した上で適切な対応をとる	・サーベイランスの入力を毎日行い、欠席や登校生徒の状況を把握する。			
		・感染症予防のために基本的な生活習慣を見直させ、定着できるように指導する。また、体調不良者や欠席者を正確に把握し、関係教員と連携する。			

分掌 教科	項目（重点目標）	具 体 的 方 策 及 び 数 値 目 標	評価		成 果 と 課 題
人権教育部	人権学習の推進と人権意識を高める 取組の推進	・各学年毎に人権学習を実施する。基本的人権に対する正しい理解をさせ、学校生活 の中で人権を意識した行動ができるように指導する。			
		・生徒会人権委員会の活動を充実する。			
農場部	農業クラブ活動の充実	・各種の発表会や競技会に向けた活動を推進し、大会での上位入賞を目指す。			
		・京都府連盟事務局校として組織的・計画的に運営に取り組む。			
第１学年部	進路実現に向けた学力の向上	・日々の予習・復習を徹底させる。（プラス評価の数値で評価）			
		・考查前の学習を徹底させる。（１週間前からは平均３時間以上）			
第２学年部	自覚と責任を持って行動し、学校の 中心として活動できる力を身につける。	・ルールを守り、適切な行動選択により正しく生活し良好な人間関係と学習環境を構 築する。			
		・中堅の学年として、与えられた役割を確実に果たすよう心がけ、他人のために一生 懸命になれる人間を目指す。			
第３学年部	最高学年としての自覚を促し、個々 の義務と責任を果たす姿勢を養う。	・学校内において、他学年の見本となれる姿勢・行動を意識する。			
		・各行事や自主活動において、持てる力を発揮する。			
学力向上 SA推進部	学力を向上させるための指導の充実	・家庭学習習慣の確立のため、学年部と連携し学習時間記録表を活用する。各教科で 課題等を出していただき、毎日の平均学習時間「０時間」の生徒をなくす。			
		・模擬試験受験後の有効な活用の仕方について指導する。			
事務部	学校経営という視点を持った予算の 執行	・特色ある学校づくりを進めるため、各分掌・教科や各種事 業担当等と積極的に連 携を図り、財政的な面から学校運営の一翼を担う。			
		・学力充実・向上のための予算の重点的な措置を行う。			
国語科	「ことばの力」を基軸とした基礎学 力定着と学力伸長	・日常的な小テストを中心に基礎的な国語常識の定着を図るとともに、各種論文コン クールや作文の作成にあたってきめ細かな指導を行い、言語表現を豊かにさせる。			
		・的確な頻度で課題に取り組ませ、家庭学習習慣の定着を図る。			
地歴 公民科	進路実現に向けた学力向上を目指す	・難関大学等、進路希望に応じた個別指導をきめ細かに行う。			
		・暗記だけでなく思考・表現力を培うことができるよう、定期考査の工夫をする。			
数学科	学力『伸長』	・学年全体、SAの生徒ともに、模擬試験の偏差値を年間を通して向上させる。			
		・必要に応じて、個別指導(課題の配布や参考書の紹介など)を行う。			
理科	科学的な考え方を身に付けさせる	・実験や観察、実習を積極的に取り入れる。			
		・興味・関心を引く教材・指導方法の工夫する。			

分掌 教科	項目（重点目標）	具 体 的 方 策 及 び 数 値 目 標	評価		成 果 と 課 題
保健体育科	健康の増進と体力と精神力の向上	・毎時間の準備運動に有酸素運動や筋力トレーニングを取り入れ、体力を高める運動を通して体力と精神力を向上させる。			
		・自らの健康に関心を持ち、生涯を通じて意欲的に運動に親しめるよう、選択授業において自ら計画を立てて行う。			
芸術科	自己肯定感を高めさせ、実技能力を向上させる	・言葉等で自らの想いや考えを記録・整理させ、自己の成果や課題に気づかせることにより、向上心を一層高めさせる。			
		・生徒の良い所を積極的に言葉にして伝え、自己肯定感を高めさせる。			
英語科	個々の生徒に応じた学習指導の構築	・「マナトレ」等、様々な教材を活用し、基礎学力の定着を図る。			
		・日々の授業を大切にすると共に、補習・学習合宿等の個別対応も充実させる。			
家庭科	生活を主体的に営む力の育成	・様々な体験活動・実習を行い、生活事象に関心を持たせる。			
		・生活の中から題材を選び、授業と生活の関連性を感じられる授業を展開する。			
農業科	専門的な知識と技術を身に付けさせる。	・より具体的で分かりやすい授業を展開する。			
		・社会人講師を計画的に招き、専門知識や技術を深化させる。			
情報科	情報技術の学習を通じて、情報化社会を生き抜く能力を育成する。	・新たなコミュニケーションの手段としての情報の特性を理解し、円滑に活用する能力を育成する。			
		・個人情報や知的財産権の保護など社会的責任を伴う問題についての理解と自覚を養う。			
総合的な探究 の時間 （１年）	「京丹波学」をとおして、京丹波町や須知高校の魅力を再発見し、継承する力を培う	・京丹波町の歴史・文化・自然・環境・産業・観光・スポーツ等について学び、理解を深めるとともに、地域社会の課題を考察する。			
		・須知高校と京丹波町の関係性について学び、今後、須知高校が地域社会に貢献する方策を考察する。			
総合的な探究 の時間 （２年）	課題の発見・問題解決の能力を身につける。	・町役場や地域の方と連携し、町の課題を踏まえた学習を進める。			
		・生徒が自ら立てた課題の解決に向けて、主体的・協働的に学習を進める。			
総合的な学習 時間 （３年）	より良い自己の在り方や生き方を探る	・社会や地域における課題を見出し、より良い自己の在り方や生き方を探る。			
		・職業観・勤労観を育み、自らの進路について考え、進路実現に向けた諸活動に繰り返し取り組む。			